

キャンプファイヤー展開例

【役割分担】

役割	人数	内容
司会者	1～2名	プログラム全体を進行する人（引率者の場合が多い）
火の神	1名	つどいの中心。はじめや終わりの言葉を述べる人（引率者）
火の女神	1名	つどいの聖火を火の神に渡す人
火の守	2～5名	誓いの言葉を述べ、薪に点火する人
音響効果係	1～2名	マイクや音楽、照明、火の調節等の係
準備撤収係	数名	会場で丸太や薪を組んだり、終了後に片付けたりする係

【プログラム】

第一部 迎え火のつどい	(1) 入場・開会 (2) 開会宣言・歌「_____」 (3) 火の神入場 (4) はじめの言葉 (5) 分火・誓いの言葉 (6) 点火・歌「_____」
第二部 交歓のつどい	(1) レクリエーション（スタンツ）
第三部 送り火のつどい	(1) 歌「_____」 または詩の朗読 「_____」 (2) 終わりの言葉 (3) 送り火・歌「_____」 (4) 火の神退場・閉会

【進行表】

第一部 迎え火のつどい

順序	内容
(1) 入場整列	・静かに全員入場（薪を丸く囲んで立つ）
(2) 開会宣言	<p>(司会者)</p> <p>「皆さんこんばんは。私たちが待ちに待ったキャンプファイヤーの夜がおとずれました。これから「〇〇の火」を迎え入れて、皆さんの思い出に残るような、素晴らしいキャンプファイヤーを始めたいと思います。はじめに『_____』を歌いながら火の神を迎えましょう。」</p> <p>※「〇〇の火」…友情の火、希望の火、平和の火 など</p> <p>・(全員) …歌の斉唱（例『遠き山に日は落ちて』）</p>
(3) 火の神入場	<p>・火の女神が火のついたトーチを持ち、火の神、火の守を先導して入場する。</p> <p>（歌に合わせて入場し、円の内側を1周して所定の位置につく）</p>
(4) はじめの言葉	<p>(司会者)</p> <p>「ここで、私たちの火の神から、明日への明るい希望をたくしたはじめの言葉があります。」</p> <p>・(火の女神) …火の神を照らす。</p> <p>・(火の神) …火のかかわりのある話をする。</p> <p>(火の神)</p> <p>「雄大な五家原岳の峰々をあかね色に染めながら夕日は沈み、夜のとばりが静かに降りてきて、今ここに皆さんの友情の火を迎え</p>

	<p>ました。</p> <p>私たちの前に輝いている「〇〇の火」は、遠い昔から人類の文化を育ててきた火でもあります。この火は暖かい友情の火として、また、未来を見つめる希望の火として、そして平和のシンボルの火として、永遠に消してはならない火であります。</p> <p>この「〇〇の火」を囲んでのキャンプファイヤーが、厳粛な中にも自己の心を深く見つめる機会となり、さらに、友情と団結、そしてたゆむことなく前進する決意を固め、私たちの心にいつまでも残るよう祈りつつ、キャンプファイヤーを始めます。」</p>
(5) 分火・誓いの言葉	<p>(司会者)</p> <p>「ありがとうございました。火の神の言葉にもありましたように、いつまでも心に残るキャンプファイヤーにしたいと思います。それでは火の神から火の守へ「〇〇の火」が分火されますので、火の守は火の神の前に集まってください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(火の女神) …火のついたトーチを火の神に渡す。 ・(火の神) …火の守のトーチに分火する。 ・(火の守) …全員に分火されたら薪のまわりに立つ。 <p>(司会者)</p> <p>「これから、火の守から『誓いの言葉』が述べられます。」</p> <p>(火の守[])</p> <p>「私たちは、_____を誓います。」</p> <p>(火の守A/例)</p> <p>「私たちは、はつらつとした体と、明るい心を養うために努力していくことを誓います。」</p> <p>(火の守B/例)</p> <p>「私たちは、みんな仲良く協力しながら成長していくことを誓います。」</p> <p>(火の守C/例)</p> <p>「私たちは、良い思い出をたくさん作り、それを明日へのエネルギーにしていくことを誓います。」</p> <p>(火の守D/例)</p> <p>「私たちは、自然に感謝する心を育てていくことを誓います。」</p> <p>(司会者)</p> <p>「ありがとうございました。今、この____つの誓いを私たちの歩みの道しるべにしていくことを、あらためて皆さんとともに誓い合いたいと思います。」</p>
(6) 点火・歌	<p>(司会者)</p> <p>「火の守によって、キャンプファイヤーの炎が点火されます。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(火の守) …薪に点火する。 点火したら、トーチの火を消して元の位置に戻る。 <p>(司会者)</p> <p>「今、火の守によって点火された炎を見ながら『_____』を歌いましょう。」</p>

	<p>・(全員) …歌の斉唱 (例『燃えろよ燃えろ』)</p> <p>(司会者)</p> <p>「この「_____」(場所)」に、私たちの「〇〇の炎」が赤々と燃え始めました。この炎は、次第に火力を増して闇夜を照らし、明るく、強く、大きくなっていきます。</p> <p>それでは、ここで皆さんと『_____』を歌って、『迎え火のつどい』を終わりたいと思います。」</p> <p>・(全員) …歌の斉唱 (例『若者たち』)</p>
--	---

第二部 交歓のつどい

順序	内容
	※歌やスタンプを各団体で設定する

第三部 送り火のつどい

順序	内容
(1) 歌または詩の朗読	<p>(司会者)</p> <p>「大きな声で歌い、ゲームに熱中し、手を取り合って過ごしているうちに、楽しいキャンプファイヤーの時間も過ぎ去ろうとしています。</p> <p>これから『送り火のつどい』を行うにあたり、明日への明るい希望を歌にたくして『_____』を歌いましょう。</p> <p>・(全員) …歌の斉唱 (例『切手のないおくりもの』)</p>
(1)' 詩の朗読	<p>(司会者)</p> <p>「大きな声で歌い、ゲームに熱中し、手を取り合って過ごしているうちに、楽しいキャンプファイヤーの時間も過ぎ去ろうとしています。</p> <p>これから『送り火のつどい』を行うにあたり、私たちの仲間の死の朗読に、静かに耳を傾けて聞きたいと思います。</p> <p>詩の朗読をするのは_____さんです。</p> <p>・(代表者) …詩の朗読 (例『思いやり』)</p> <p>私たちは、思いやりの心を持ちたい 悲しそうな友達には、励ましを さみしそうな友達には、楽しい話を いじめられている友達には、味方がいっぱいいることを 自分勝手なふるまいをする友達には、勇気のある告白を ひとりぼっちでいる友達には、遊びの誘いを そんな思いやりの心を、私たちは持ちたい</p> <p>私たちの学校生活に、もし思いやりの心がなかったら、 みんな無口で、みんな無関心で、みんな知らん顔で、 みんなバラバラで、みんな自分勝手な人になってしまう 私たちの学校生活に、思いやりの果たす役割が どんなに大きいことか</p> <p>ひとりひとりが、笑顔をかわし、 ひとりひとりが、語り合い、 ひとりひとりが、助け合い、 ひとりひとりが、協力し合い ひとりひとりが、思いやる、 そんな思いやりの心を、私たちは持ちたい</p>

	<p>(司会者)</p> <p>「私たちにとって、とても大切な『_____』の詩を、ありがとうございました。」</p>
(2) 終わりの言葉	<p>(司会者)</p> <p>「それでは、最後に、火の神から終わりの言葉があります。」</p> <p>・(火の女神) …残り火からトーチに点火し、火の神を照らす。</p> <p>(火の神)</p> <p>「いつの間にか、楽しいキャンプファイヤーの時間も終わりに近づいてきました。</p> <p>私たちは、今夜のキャンプファイヤーを全員で協力して盛り上げ、楽しいひと時を過ごすことができました。赤々と燃える火は、皆さんの心に灯され、『〇〇の火』として明るく輝くことでしょう。</p> <p>希望に満ちたこれからの人生には、苦しいこと、悲しいこと、くやしいことが待ち受けているかもしれませんが、その時は、この火、この友を思い浮かべ、力強く生き抜いてください。</p> <p>皆さんがこの「_____ (行事名)」を通して、今までの自分とは少し違う、「_____ (行事のめあて)」な自分に成長していることを期待しています。」</p>
(3) 送り火・歌	<p>(司会者)</p> <p>「いよいよこのキャンプファイヤーも終わりの時間が来てしまいました。最後に『_____』を歌って、幕を閉じたいと思います。」</p> <p>・(全員) …歌の斉唱 (例『今日の日はさようなら』)</p>
(4) 火の神退場・閉会	<p>・火の神、火の女神は、歌が始まったら、場内を1周して退場する。</p> <p>司会者)</p> <p>「以上をもって、今日のキャンプファイヤーを終了します。おやすみなさい。」</p>